

今日の婦人の心は如何にしてそんなになつたか、婦人は何處まで働けるものか、意志はどうか、感情はどうか、と云ふことを調べることは根本の研究問題である、さうなると自然淘汰性とか色々の八釜しいことになつて来る、其の議論は學者によつて様々で、一定せぬ、併しなから兎に角男女と云ふものは根本的に研究しなければならぬ、唯表面のみを覗て居るのでは本統の根據にはならぬ、今後の研究には男女の根本的研究が必要である、子供は子供で又別に發生學の方から研究すると云ふと非常に面白い、子供と婦人の身体と精神の變化性質を調るべは一の大事業である、婦人と子供に付て書いた十分纏つた本は無いが、色々の本には散見して居る、これを大成せねばならぬ、婦人と子供の比較的研究は學問上甚だ面白いことであるし、又一方男女の研究と云ふことも、學問上頗る興味のある仕事であると云ふことを附け加へて今日は是で御免を蒙ります。

英國に於ける兒童虐待防止會

文學士 吉田熊次君演說

此前に下田君の面白い御話がありまして其際私が出まして、もつと面白い御話でも致すと云ふやうな御披露を辱ふしたのであります、實はさう云ふことは誠に不向きなのでありますから御断り申します。

私の御話をするのは英國に於ける兒童虐待防止會と云ふ題であります、此の兒童虐待防止會と云ふのは、其の名の示してあるやうに子供をむごく取扱はないと云ふことでありまして、丁度動物虐待防止會と云ふのが日本にもございまして此の會で以て牛や馬や鳥や獸を慘酷に取扱ふことを防ぐの目的として居るやうに、牛や馬の代りに子供を慘酷に取扱ふことを成るべく少くしようと云ふのであります、理屈を考へますと子供は動物よりは確かに尊い者で無ければならぬ、若し動物を虐

待して悪いならば子供を虐待して悪いのは言ふまでもないことであり、所が日本には私の知つて居る範圍に於ては今日迄兒童虐待防止會と云ふものが出来て居らぬやうであります、併し外國ではナカ／＼盛に兒童虐待防止運動と云ふものが行はれて居ります、殊に英國の如きは餘程手廣く又餘程組織立つて居るやうであります尤も兒童虐待防止會は最初英國に起つたのではありませぬ。元は亞米利加合衆國の紐育に起つたと云ふことであります、それは今より餘程前のことであります記録に據りますと、一千八百七十五年丁度日本の明治六年でありまして其の年に初めて紐育に此の會が起つたそれはどう云ふ事情で起つたかといふと、彼の地に於ても兒童虐待防止會よりは動物虐待防止會の方が早くあつたのであります、それで或宗教家が一人の肺病患者を自分が引受けて保護してやつたことがある、其の人は婦人であつたのであります、其の人を引受けて養つて居りますると其隣りの部屋で或る子供が朝から晩迄其の両親に虐待せられる其の叫聲が絶えず病人に聞

えますので此の死にかけた肺病患者が非常に心配をしてどうかして彼の子供を救つてやりたいと云ふことを願つた、それで其の慈善家もどうかして其の子供を救つてやらうと思つて早速其の兒童を虐待する家に行つて談判をしてそれを養女にでも呉れて呉れ、私の方の團體で救つてやらうと云つた處が承知しない、警察の方でもさう云ふことはまだ規定が無いから取扱ふことは出来ぬと云ふ話であつた、それで如何にも困つて居りました所が丁度動物虐待防止會の會長が、それならば宜しいと云ふので其の子供に馬に被せる毛布のやうなものを着せて子供と雖も動物であらうから動物を保護することを許されて居る我が動物虐待防止會は此の子供も一の動物として保護するに於て差支なからうと云ふことで無理々々と引取つてそれを育てたと云ふことであります、それが動機となつて其の翌年即ち前に申した一千八百七十五年に紐育に動物虐待防止會と別に兒童虐待防止會と云ふものが出来上りそれが非常の賛成を得まして、合衆國並に加奈陀等に擧まつたのであります。

其の後一千八百八十三年即ち我が明治十八年に英國に移ることになつた、是は最初英國の或る人が亞米利加に行つて亞米利加の兒童虐待防止會のこゝとを調べて参りリバブルに於て初めて其の會を起したのであるが間も無く倫敦にも擴まり、倫敦に参りましてからは有名なるロースベリ卿が非常に熱心に此の會に盡力せられて英吉利に於て第一に常に此の事が擴まつた、所が英吉利に於て第一に困難であつたのは、皆さんも御承知の通り英吉利と云ふ國は家族即ち自分の家は城廓であると云ふ考で、自分の家には何人も外からして侵入することを許さぬと云ふのが英吉利の國風であります、家族々々が自分の城と心得て居りますので、其の代り自分が外國に移つて行けば自分の勝手に城を移して行くのであるから極めて便利な所もあります、兎に角英吉利の家族生活は嚴重なもので他の人が其の内部の事に啄を容れさせない、然るに兒童虐待防止會は或る家で以て其の内の子供が慘酷な目に遭ふと云ふと第三者即ち他の人が行つて啄を容れるのであるから家族城廓主義には反對をす

る、それでナカ／＼困難であつた、所がロースベリ卿などの盡力に依て法律を出すことに致しまして一千八百九十四年即ち我が明治二十九年遂に法律案として他人の兒童と雖も是が慘酷に取扱はるゝ場合には引取つても宜しい又それを罰し得る法律が出来上がったのであります翌年の一千八百九十五年即ち明治三十年になつて遂に兒童虐待防止會と云ふものが正式に成り立ちましてそれから非常なる勢を以て廣まつて居る英吉利のやり方に致しますと云ふと、都會の土地でありましたら十万人の人口のある所を一のデストリフト即ち區とする其區の内にインスペクトルを置く、インスペクトルと云と視學官でありますが是は文字通り言へば巡視であります、一人の巡視を置くさうして視て廻つて兒童を慘酷に取扱ふ家が無いかと云ふことを注意して居る、田舎に行くと人家が疎であつて從つて人口が稀薄でありますから先づ八万人の住民のある處を一の區と致して一人の巡視を置く斯ふ云ふ工合に全國を通じて兒童虐待防止會の行政機關のやうなものが出来てしまつた、さう

して中央には夫れく役員を置き、又地方に於ては支部を置いて全國を一の政府の如くに造りまして兒童の虐待を防ぐことにして居るのであります。其の法律に據るとナカク嚴しいのであります。兒童を虐待した者に對しては随分澤山な罰金を課す、例へば一千五百圓以下の罰金を課す、若し罰金を拂はなければ二ヶ年以内の懲役を課すと云ふ様な極りもあるのであります。而して英吉利に於ける兒童虐待防止會の主なる仕事は一方に於て虐待せられて居る兒童を探し出すことである探し出してからはどうするかと云へば、若し其の兒童が生命も危いと云ふやうな虐待の仕方によつて居るならば一時引取つて安全な場所に置く併しそれは假りのことでありまして、正當の手續としては先づ兒童の父兄に忠告するのであります。それは極つた所の書式がありまして其の中には、私共はチャンと法律で許されたる權限に依て兒童を保護して居るのであるから貴下が若し亂暴なことを續けなざると云ふと罰に御合ひ爲さる、それだからして今の中に御止めなさいと云ふ書面を送る、尙

は止めぬ時には愈々裁判所に訴へるのであります。訴へると裁判所の判決に依て虐待した者は重ければ罰を受け、兒童は相當の設備の下に引取られて教育を受けると云ふのが大體英吉利の兒童虐待防止會の組織であります。併し私は英吉利の兒童虐待防止會の仕事は視る機會が無かつたのであります。が獨逸に居ります際に一つの學校を觀た其の學校は前申上げましたやうな兒童虐待防止會の設立にかゝるのであります。伯林の近所にあつたのであります。英吉利の兒童虐待防止會は主として虐待せられて居る兒童を發見してそれを官廳に告げてやると云ふ仲介をするのが主であります。獨逸にありましては其の媒介者となるよりは自分で以て虐待せられて居る兒童を引取るのが主である、是はどう云ふ所から來て居るか云ふと獨逸ではまだ英吉利のやうな慈善事業が發達して居りませぬ、或は不良少年とか或は學校を怠る者等の爲めに特別の設備が出來て居らないので、或る一二の有志者がそれ／＼特殊の團體を造つてさう云ふ保護をして居るのであるからして獨逸では自分

で以て引取るより外途がないのである、或る獨逸の兒童虐待防止會の記録に據ると、其の會で爲て居ることが三つある三つと云ふのは

第一 何處にどう云ふ兒童が虐待せられてゐるか
と云ふことを知ることに

第二 諸方からさう云ふ通知が來た場合に於てそれを調べることに

第三 其調べの結果愈々救はねばならぬものであるならば其れを救つてやることに

此の三つの仕事に分て居りますそれに付て二つの例を擧げて居るのであります第一どんな種類の兒童が虐待者と看做さるかと云ふと英國も獨逸も似たやうなことであります第一は亂暴すること、殴るとか苛めることである、それは言ふまでもなく兒童虐待である第二はそれと少し違ひまして無暗に兒童を使ひ立てをするに使ひ立てをするると云ふのは身体が弱いものであるにも拘らず無理に仕事をさせる、或は働かせ過ぎ、或は又小さな者を藝人として舞臺に出して錢を取ると云ふやうなことを虐待の中に籠めて居るさう云ふ事を知

るにはどうしてするかと云ふと、英吉利に於ては是は色々の場合にそれ／＼廣告のやうなことをする、小さな紙に印刷をしまして、兒童虐待防止會の性質を述べて若し斯う云ふものが目付かつたならば知らして呉れと云ふことを諸方に配ばる、併し獨逸の方のやり方はさう云ふことはないやうであります、寧ろ獨逸の方では之を人に頼む、どう云ふ人に頼むかと言へば最も多く小學校教育に従事して居る學校の校長及び教師、或は又地方の有志家にも頼み又警察とも連絡を取つて居りまして巡查が直接に通知して呉れることもあるさう云ふ風に於て知らして來る、其の知らして來た時に虐待防止會の本部には掛りの人を置きましてそれを調べにやり、調べに行くにはどうするかと云ふと直接に行つても分からぬ隠す虞がありますから第一に近所の人に様子を聞いて見る、之も多くの場合に於て近所の人には遠慮して正確なることを言つて呉れないそれで色々苦心をして小學校の教師に聞いたり或は又其の地方を擔任して居る巡查に聞いたりして調べる、其の調べた結果如何にも不幸

なる状態に居ると云ふ場合には或は理由を父兄に説聞かして受取ることもある若しそれが許されないとか、不承知を唱へる場合には警察の力で以てそれを引取るそうして學校に入れる其の入れて居る學校は有志の寄附で以て出来て居るのであるが随分立派なものでありまして其の中にはチャンと教師が住んで居る又それに色々の補助員があつて色々の學科も教へて同時に色々の仕事を教へてそれ等の子供達が後に世に立つて行けるやうにする一体どう云ふ種類の子供であるか或はどう云ふ種類の家庭の兒童が虐待の目に遭ふかと云ふとそれも色々あります、是は容易に皆さんも想像の出来ずやうに金のない人即ち貧乏者に多い茲に掲げてある例に依ると或る時何だか咳をする子供が牛乳を配達をして居る變だと思ふてそれを調べて見た所が阿母さんがやはり心臓が痛んで居る其の子供も心臓が悪かつたのであります母は尙更心臓病が重つたから母が極めて居つた牛乳の配達をせぬと一ヶ月六マツクの賃金が取れないそれが取れないから子供を使つたと云ふのがある貧乏と云

ふ處から自然兒童を虐待するやうになつたと云ふやうなことである其他さう云ふ風に色々例が擧つて居るのであります或る時に七才になる子供が慘酷に非常に叱られて居ると云ふことを聞き付けて其の脇に聞いて居た所が其の子供が自分の弟の飲む爲めの牛乳を飲んで仕舞つた其の家は非常に貧困な家であるから更に其の牛乳を買つてやることは出来ない其の不都合を責める爲に親が慘酷なる取扱をしたと云ふ場合もあると云うやうなことを書いてあります要するに貧乏と云ふことは兒童虐待の起る一の原因である其他父親が飲酒家であるとか母親がしたらが無いか其他繼母繼父と云ふやうな事情の下に兒童虐待と云ふことが起り易い殊に私生兒是は二つに分けてある正當の結婚に依らざる兒童と正當の手續を経る前に出来た兒童とは慘酷なる取扱を受け勝ちのものであると云ふことであります要するに色々の事情の下に兒童虐待と云ふことが行はれて而も其の数は精しく調べて見れば調べる程多いので年々にさう云ふ風に殖へて來ると云ふやうなことを言つて居ります。

是等の児童を受取つた上は何う云ふ保護をするかと云ふと女の兒であれば其の學校を出て女中奉公をするのでありますそれに女中になるに必要なることを能く教へて出すと云ふやうな仕組に出來て居るのであります但其の外に女中になりませんにも相當に洋服も造つてやらなければならぬそれを造ることも出來ないものゝ爲めに児童虐待防止會で以て一時金を貸して衣物を造らす後に段々月給の中から割引いて返へすと云ふやうな仕組もあります若し男の兒なれば學校を出て職業を得なければならぬから靴作りを教へるとか簡単な指物を教へるとか万事児童が世に立つて行けるやうな方法が講ぜられて居るさう云ふ仕組に出來て居るのであります斯う云ふ風に児童保護と云ふことは彼の地に於て盛に行はれて居るのであります児童保護の上に尙ほ少年者保護と云ふやうなものもある児童と云ふ方は重に十二三才或は大さくなつても十四五位ひが極限でありますが少年者……青年と言ひませうか少年少女の時期であります但其の時期の者に對しては色々の保護の方法が出來て居る

其の他女中の保護の會も出來て居りますので何れも博愛慈善の精神に基いたものであります。前申した通り若しも動物が保護せらるゝだけの理由を以て居るならば人間が保護せられないと云ふのは理に合はない、理窟を言へば道理に合はない是は日本に於ても將來是非發達せねばならぬ又發達することであらふと思ふ尤もさう云ふことは日本に必要はないと云ふかも知れぬ、何故必要がないかと云へば日本の人は大變に情愛が厚いから父親はどうか知らぬが少くとも母親は子供を非常に大事にするやうにありませうからして母親が子供を大事に育て呉れるならば児童の虐待は多くの場合に免れる事實さう云ふ風に圓滿に行つて居るならば日本には児童虐待防止會はなくとも宜いか知らぬが併ながら精しく調べて見るならば日本と雖もが決して虐待されて居る児童が無いとは限らないと思ふ況や色々の事情で眞の親が育つて居らぬ者に依つては眞の保護の必要があること、思ふのである。元來人間は殊に婦人は感情の強いものであると云ふことは下田君の御話にもあつたので

ありませんがやはり日本でも動物虐待があつて兒童虐待が無いと云ふことは必要がないと云ふ理窟から來たのではないのであつてやはり感情の表れの一つであらふと思ふ感情は其の性質上理窟を問はず表はれて來るから犬の怪我をして居るのを見て非常に可哀想だと思ふ人或は自分の家に飼つて居る猫が病氣して居るとそれを心配する人も女中に對しては手荒くする慘酷であると云ふのは人間は理窟のみで無くして感情が表はれて來易いから動物に對して同情が起つたからと云つて必ずしも他の場合にも何時も同情が起るとは限らない慈悲心の厚い人ならばそれは我々は用心をしなければならぬ或る場合に冷酷なことがある他の人には親切なれども家庭に於ては其の反對のもあるのである是が感情の特質である動物に對して表はれたる同情が兒童に對して表はれないと云ふことは一は感情の性質で一つは或る外國の眞似をしたのであらふと思ふ理窟を言へばどうしても兒童虐待防止會の方が早く行かなければならぬ又其の方が重くなければならぬ動物の虐待を防止するのは宜しいか

其の方の側の發達も希望するがそれ以上に兒童虐待防止會をすべきものであらふと思ふ今日は其の參考として外國に於ける兒童虐待防止會の大略を御話したのであります。

子供と談話

後藤ちとせ

夕餉すませて寢床に就いた幼児が添ひ寢の祖母の眠へと云ふのに、やい桃太郎のか譚をさあ舌切雀の續きをと毎日毎夜同じ譚を繰りかへさして喜び眠るのはよく見る所、私共もみんな斯様な時代を経過して來た事と存じます、元來人は社交的のものとや初生兒の折から既に自己の思想を發表し様とする衝動を持つて居ります單に思ひを發表するといふ丈に止まらず他人に了解し得らるゝ方法で之を表はさうといたして居ります、けれども極く幼少な時分には物もおぼえず言葉も知らず言語發達に必要な身体の諸機關も未だ十分には發育いたして居りませんから嬉しとは笑ひ苦しとは悶え空腹になつたとては泣き出すが如き至極簡